

会社説明会

物流から想いをつなぎ、
日常の暮らしをまもる。

—— 川西倉庫株式会社

目次

1 会社概要/当社事業の強み・特徴

2

長期ビジョン「KAWANISHI 2030」

中期経営計画「Vision 2024 物流イノベーションへの挑戦」

3

DX/サステナビリティ

4

2024年3月期連結決算/2025年3月期業績予想

5

株主還元



1

会社概要 / 当社事業の強み・特徴

商号 川西倉庫株式会社 (Kawanishi Warehouse Co., Ltd.)

本社所在地 兵庫県神戸市兵庫区七宮町1丁目4-16

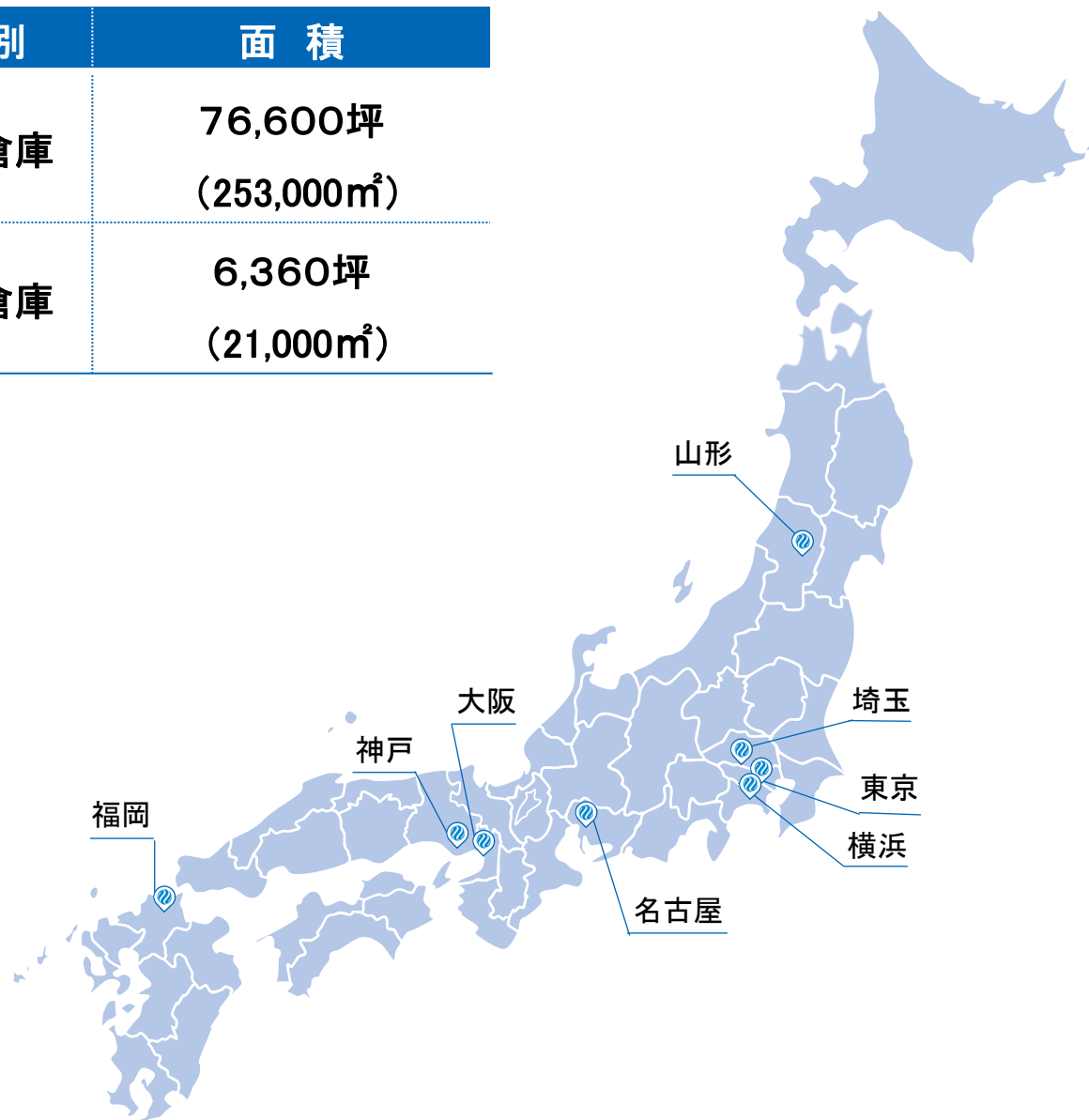
設立年月日 1918年7月(大正7年)

資本金 21億800万円

事業内容 普通倉庫業、冷蔵倉庫業、港湾運送業、貨物運送取扱業、
国際運送取扱業、通関業、太陽光発電による売電事業

従業員数 404名(連結617名)

種別	面積
普通倉庫	76,600坪 (253,000m ²)
冷蔵倉庫	6,360坪 (21,000m ²)



地域	拠点数
神戸	本社 神戸支店 通関部 10事業所
大阪	大阪支店 国際部 4事業所
名古屋	名古屋支店 7事業所
横浜	京浜支店 5事業所
東京	営業部 国際部 大井営業所 (京浜支店)
埼玉	関東物流センター加須営業所 関東物流センター杉戸営業所 (京浜支店)
山形	上山倉庫 (京浜支店) 上山蔵王倉庫 (京浜支店)
福岡	九州事務所 (神戸支店)

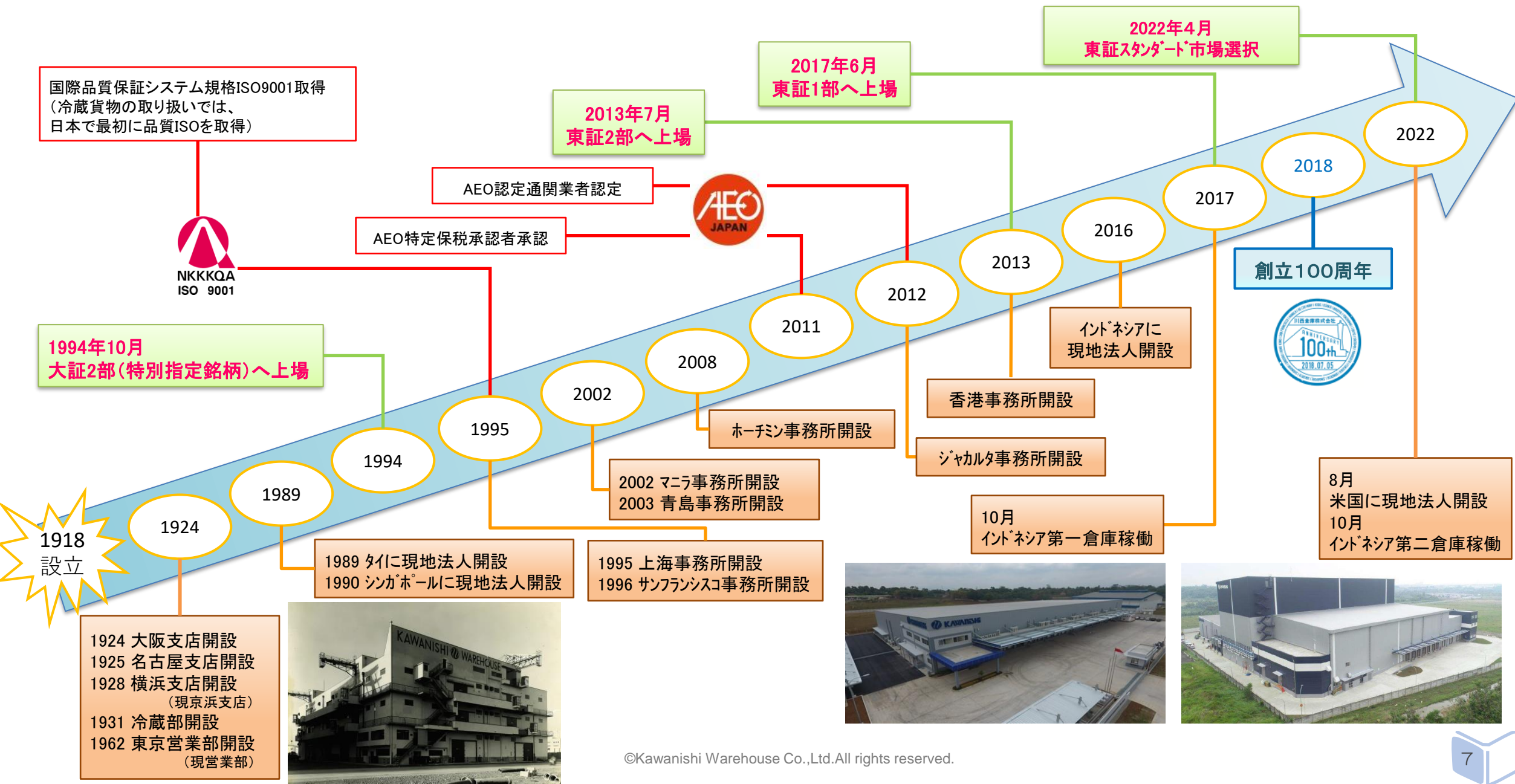


現地法人

国名(地域)	社名
アメリカ(サンフランシスコ)	KAWANISHI LOGISTICS (AMERICAS) INC.
タイ(バンコク)	THAI KAWANISHI LIMITED
シンガポール(シンガポール)	KAWANISHI LOGISTICS (S) PTE.LTD.
インドネシア(ジャカルタ) (冷凍冷蔵倉庫)	PT KAWANISHI WAREHOUSE INDONESIA 4,000坪 (13,500㎡) (敷地面積 : 25,000㎡)

駐在員事務所

国名(地域)	事務所名
アメリカ(サンフランシスコ)	サンフランシスコ事務所
中国(香港、上海、青島)	香港事務所、上海事務所、青島事務所
ベトナム(ホーチミン)	ホーチミン事務所
フィリピン(マニラ)	マニラ事務所



お客様



当社

国内関係会社4社
海外現地法人4社
海外6事務所

国内物流事業

倉庫業・港湾運送業・
貨物運送取扱業・通関業・
流通加工業務

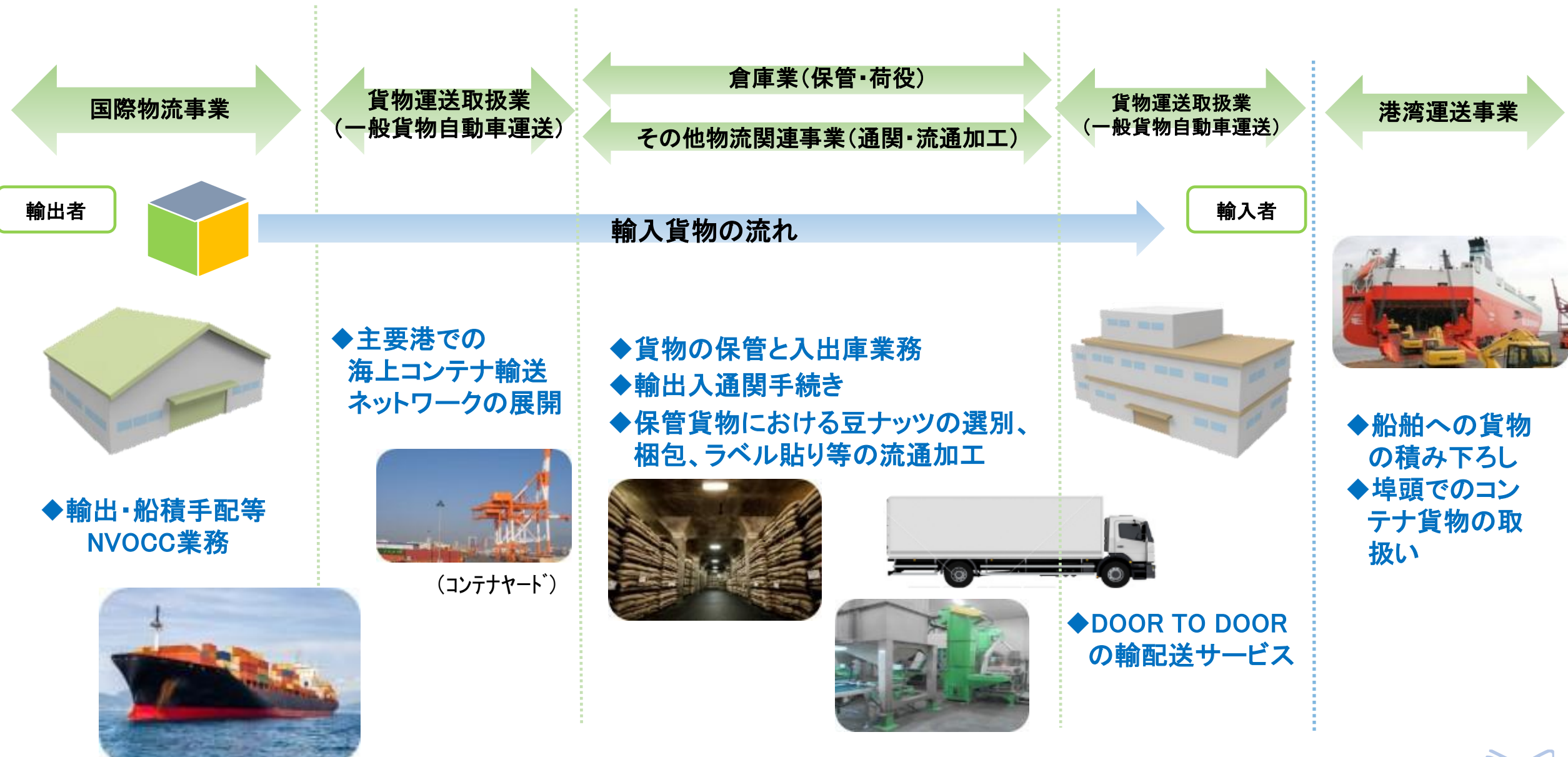
国際物流事業

国際運送取扱業・
倉庫業

その他

太陽光発電及び
売電事業・賃貸業







倉庫保管

お客様より寄託を受けた貨物を倉庫に大切に保管、 円滑な入出庫を行う業務

保税蔵置場（貨物の保管）

- ◇ 輸出の許可を受けた貨物
- ◇ 輸入手続が済んでいない貨物
- ◇ 日本を通過する貨物

いわゆる外国貨物を置くことができる場所
（税関長の許可が必要）

当社は24事業所にて取得



普通倉庫

（定温・定湿、常温、燻蒸、
オートラック庫・トランクルーム）

冷蔵倉庫

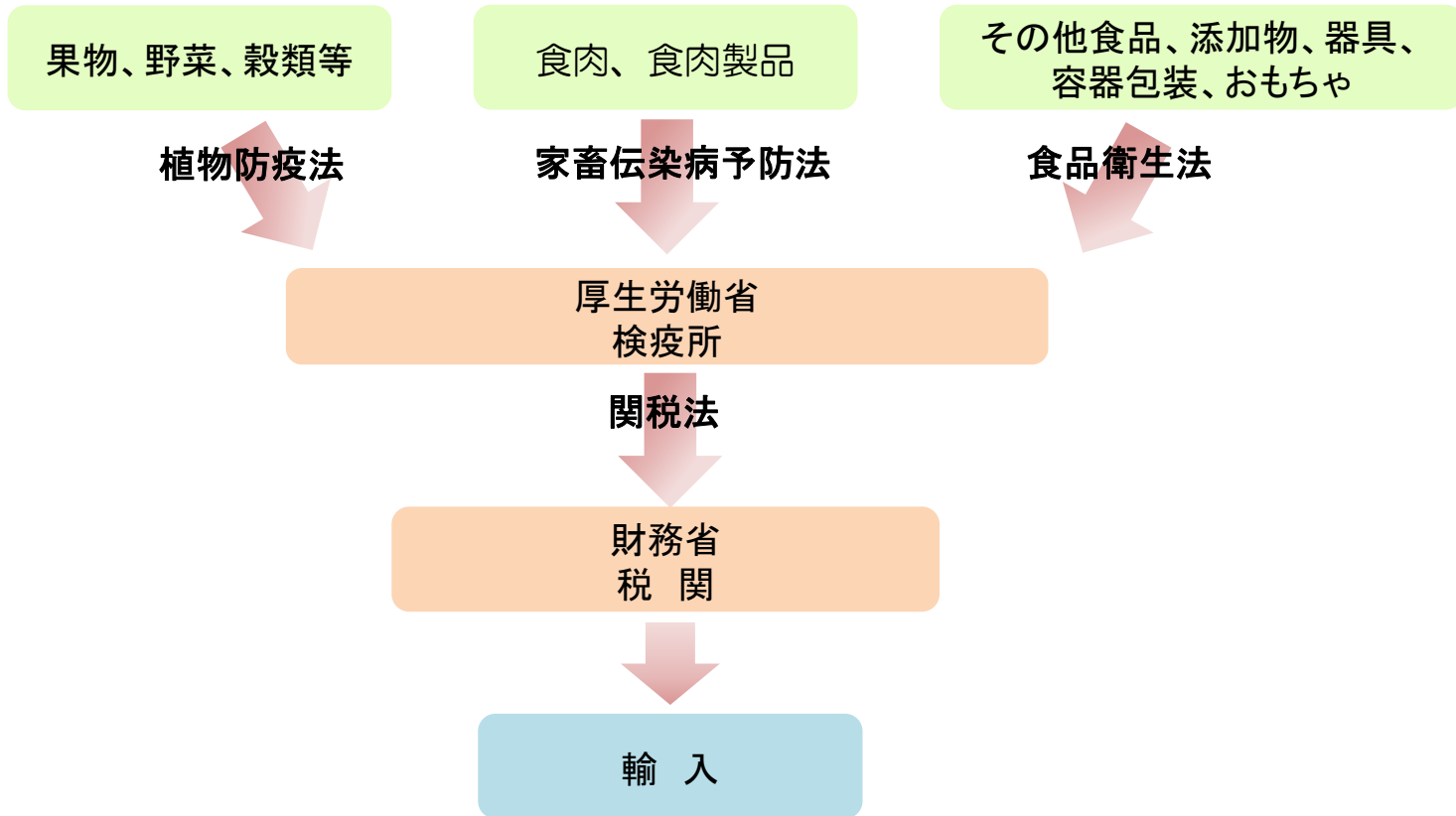
（冷蔵・冷凍・チルド）





輸出入貨物の通関手続き代行業務 関連諸法令（食品衛生法・家畜伝染病予防法・植物防疫法等） に基づく輸入申請、検査等代行業務

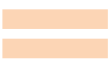


【品目による届出申請の流れ】





流通加工

商品取引の利便性を高める質の高いサービスをご提供

- 「倉庫」  お客様の生産活動の一端を担う加工拠点
-  商品の高付加価値化
-  リードタイムの短縮や物流経費の削減



豆類の選別や小分け・各種商品の検品やラベル貼付・セット組（詰替え・詰合せ）などを行っています





輸送・配送

東京、横浜、名古屋、大阪、神戸の主要港で 海上コンテナの輸送ネットワークを展開

- ◇ 交通至便な施設立地
- ◇ 商品の特性や受け入れ先のニーズに対応
- ◇ 効率的な輸配送体制を実現

DOOR TO DOORサービスの強化等、物流の効率化やお客様の
ニーズに合わせた最適な輸送サービスを提供





港湾運送

貨物の海上運送と陸上運送との接点となる業務

- ◇ 船舶からの貨物の積み下ろし業務
- ◇ ターミナルにおいてコンテナ貨物の取り扱い業務

神戸港を基盤に特定の船会社とタイアップ、グローバルな総合物流を展開



RO-RO船への自走荷役



国際物流

お客様のニーズに対応した最適なグローバル物流のご提供

長年の国際複合一貫輸送(NVOCC)の経験と実績を生かした「カスタマイズ物流サービス」を展開

- ◇ 一貫処理システムの整備(輸出書類の作成から船積手続きまで)
- ◇ 極東、東南アジアと北米にある自社物流拠点の活用
- ◇ ASEAN域内、二国間、三国間等、あらゆるトレード形態に対応

海外拠点での貨物管理物流についても提案

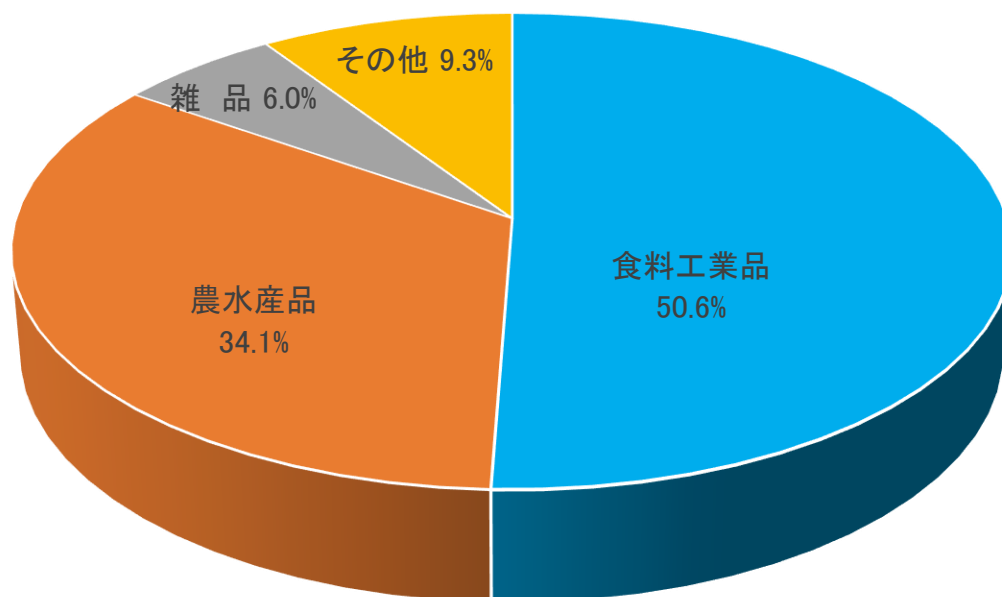


※ NVOCCとは、船舶や航空機などは所有せず、複数の輸送手段を利用して不特定荷主の貨物を一貫して輸送する利用運送業者のことです。

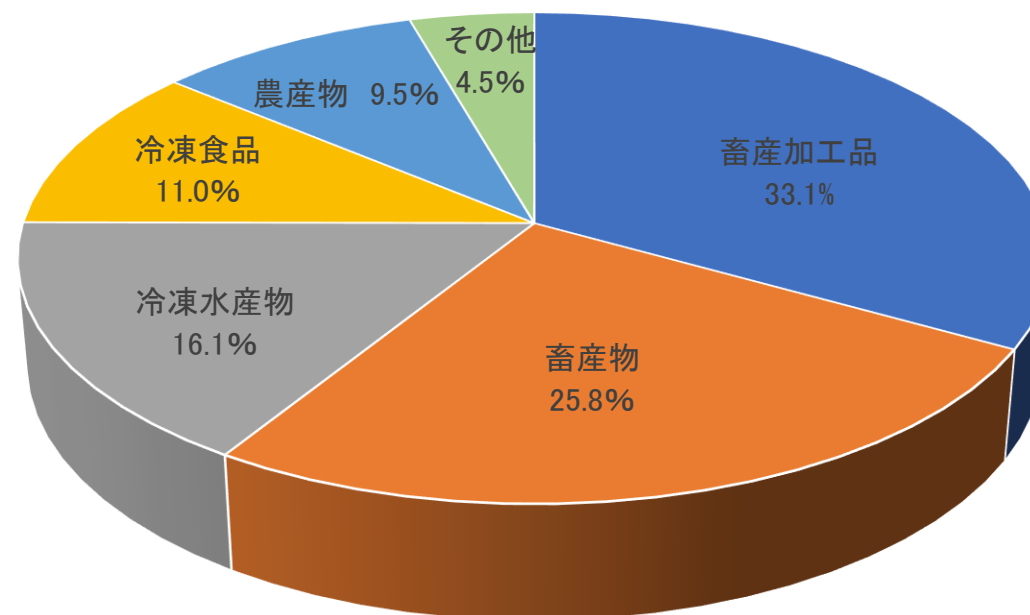
当社の主要な取扱貨物は、輸入食品です

カロリーベースで約6割を海外から輸入される食品に依存している日本において
輸入食品をなくして食生活は成り立たないものとなっています

普通倉庫



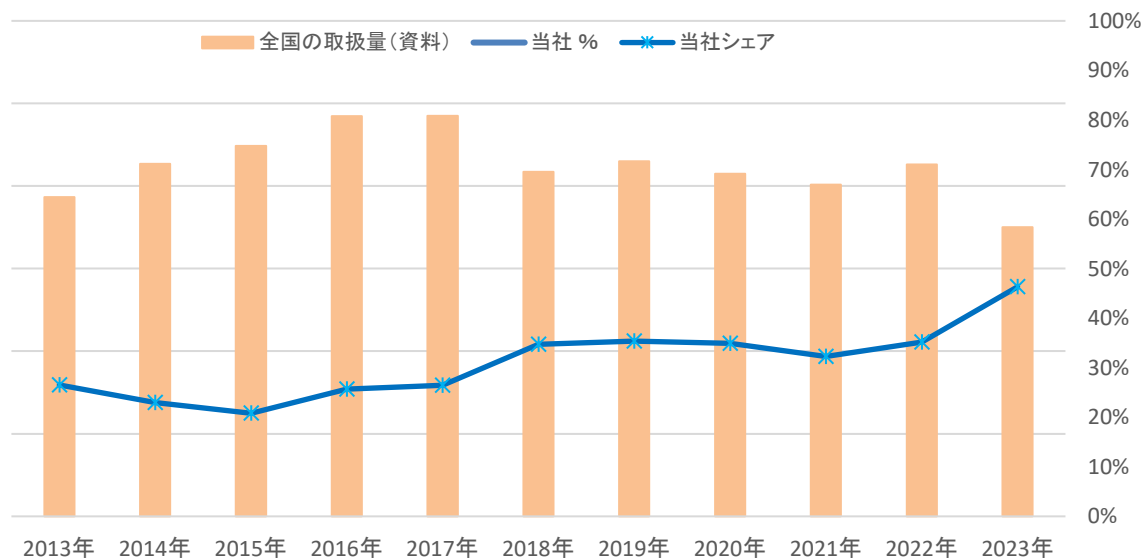
冷蔵倉庫



特に、コーヒー豆は、全国シェアの40%超を取扱っています (在庫数年平均)

＜産地から工場納入までの一貫業務＞

ベトナム産、ブラジル等の中南米産は、産地より一貫で海上輸送(NVOCC)を行っており、日本港到着後、当社倉入れ、輸入通関、大手ロースターの工場へのトラック納入までと産地から工場納入まで一貫で取扱うことができます





選別機械

精度の高い色彩選別機械等を導入し、生豆から欠点豆や異物を取り除く作業も行い、より高品質で安全性の高い商品を提供



地域	営業所名（対象貨物）
神戸	兵庫突堤営業所（小豆） 第五突堤営業所（雑豆） 六甲ターミナル営業所 六甲物流センター（ナッツ）*主にクルミ
名古屋	金城営業所（雑豆）*主にインゲン豆、緑豆 空見営業所（クルミ、ピスタチオ、クランベリー）
横浜	大黒営業所（小豆、雑豆、緑豆）
東京	大井営業所（ナッツ）*主にアーモンド



AEO認定通関業者
AEO特定保税承認者



「安心・安全な国際物流」と「スピーディな輸出入通関サービス」をお客様に提供し、また、リードタイムの短縮や安心・安全なサプライチェーンの確保等、国際物流の効率化に寄与することを目的とし、AEO制度における認定通関業者、特定保税承認者を取得



認定取得年月日: 2012年9月27日
認定番号: 12B00013号



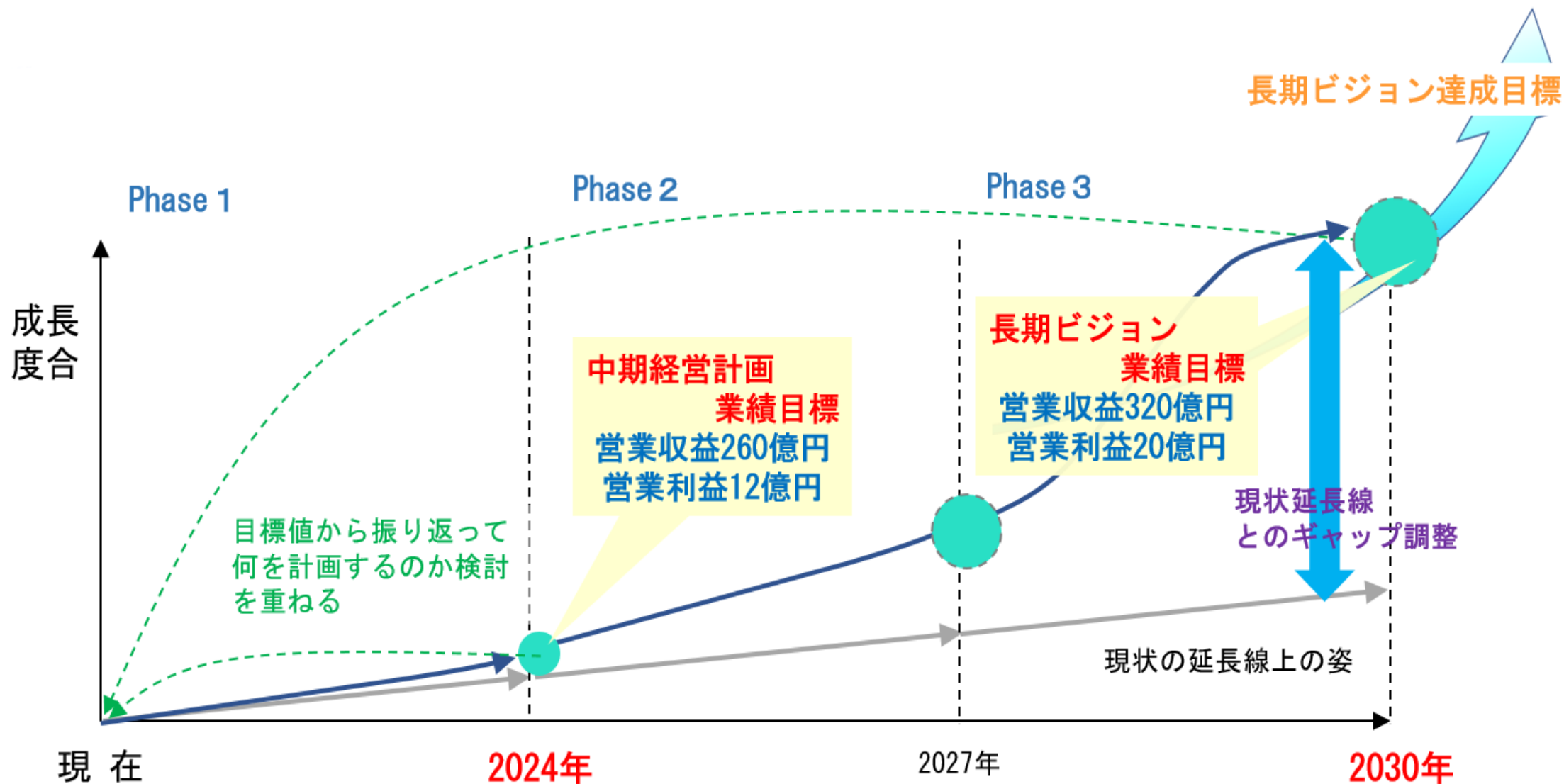
承認取得年月日: 2011年5月17日
承認番号: 11C00202号



長期ビジョン 「KAWANISHI 2030」

2

中期経営計画 「Vision 2024 物流イノベーションへの挑戦」



Phase 1 2022~2024年度

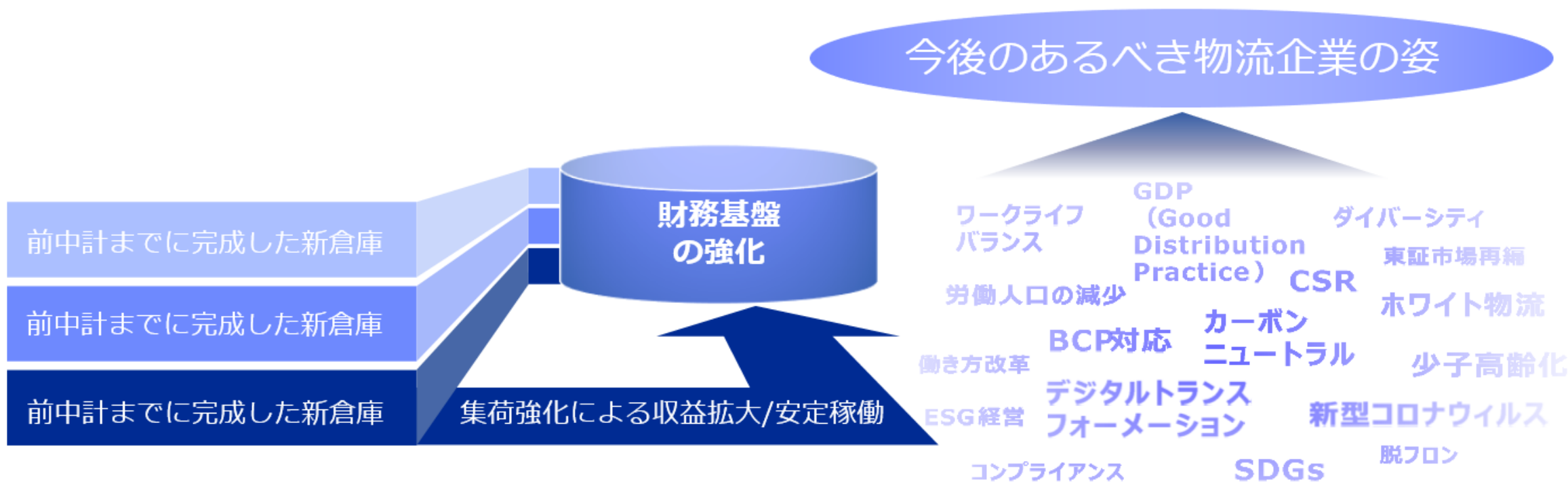
Phase 2 2025~2027年度

Phase 3 2028~2030年度

Phase 1 成長戦略の具体的な施策を策定

業績の安定を維持しながら財務基盤を強化

前中計期に新設した倉庫の集荷強化にて早期安定稼働をめざす



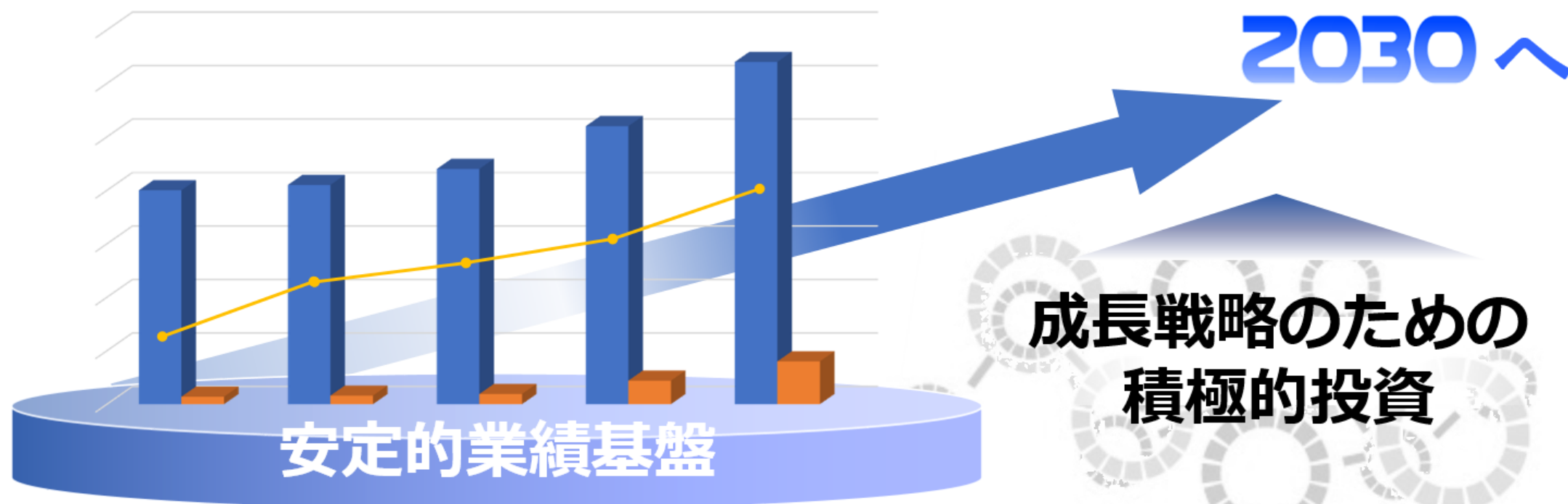
Phase 1 2022～2024年度

Phase 2 2025～2027年度

Phase 3 2028～2030年度

Phase 2 新しい取り組みを一気呵成に進める

Phase 1にて築いた安定的業績基盤を土台として2030年への飛躍的发展を睨む
Phase 3での成長戦略の完成に向けて大幅な業績伸長を計画



Phase 1 2022~2024年度

Phase 2 2025~2027年度

Phase 3 2028~2030年度

Phase 3 Phase 1・2にて進めてきた様々な成長戦略の具体的施策の完遂

川西倉庫グループ業績目標

営業収益 : 320億円

営業利益 : 20億円

営業利益率 : 6.3%

新設倉庫安定稼働による
収益利益の伸長

業務効率化による
利益拡大

次世代物流ソリューションへの挑戦

成長戦略に向けた投資計画の概要(2022年度～2030年度)

既存施設の再構築 Phase1、Phase2、Phase3	20億円
基幹システムの再構築 Phase2	10億円
成長に向けた戦略的投資 Phase2、Phase3	70億円
TOTAL	100億円

物流センターの機能拡充/スマート倉庫他

倉庫その他の設備投資(定温機更新他)

次期基幹システム

業務効率化ツール他

次世代型物流倉庫/VMI・GDP倉庫/運送強化

地球にやさしい物流構築(カーボンニュートラル実現に向けた取組 他)

基本戦略

① 既存事業の拡大・強化

② 成長に向けた取組と戦略的投資の調査研究

③ 社内体制の強化

次の100年に向けさらなる収益力・成長力の向上

PT KAWANISHI WAREHOUSE INDONESIA

第1フェーズ(2017年10月6日開業)



第2フェーズ(2022年10月20日本格稼働)



第1フェーズ

倉庫面積	5,600㎡ (1,695坪) (敷地面積 : 25,042㎡)	倉庫仕様	冷凍庫(1,137㎡)、冷蔵庫(1,137㎡)、 定温庫(2,138㎡)
------	-------------------------------------	------	---

第2フェーズ

倉庫面積	7,900㎡ (2,389坪)	倉庫仕様	冷凍庫2庫 (うち1庫は高さ28メートルの自動倉庫完備 2,800㎡、 固定ラック庫 1,000㎡) 冷蔵庫1庫 (1,000㎡)
------	-----------------	------	--

米国現地法人「KAWANISHI LOGISTICS (AMERICAS) INC.」設立

- ☆ 米国内での輸送強化や海上輸送とあわせた一貫サービスの確立をめざすとともに、北米航路の集荷拡大を図る
- ☆ 日本発着のみならず東南アジア拠点からの輸出に着目し、米国へ輸入されるNominated Cargoへの取組みの強化
- ☆ 長期的には、輸入通関、3PL倉庫保管案件への参画



設 立 日	2022 年 8 月 26 日
資 本 金	370,000 USドル(約 48,000 千円)
住 所	22320 Foothill Blvd. Suite320 hayward, CA 94541 USA
出 資 比 率	川西倉庫(株) 100%
業 務 内 容	物流全般コーディネート (NVOCC、フォワーディング、倉庫保管、輸送)





3

DX / サステナビリティ

国土交通省「物流施設におけるDX推進実証事業」への取り組み

<2024年5月>

「物流施設におけるDX推進実証事業」とは

本事業は、物流施設を保有・使用する事業者が、トラックドライバーの荷待ち・荷役削減、施設の省人化等を目的とする物流DX推進実証計画に基づき、システムの構築・連携と自動化・機械化機器の導入を同時に行う取組を支援する事業

当社の取り組み

- ☆ コンテナから垂直搬送機までの貨物の流れを効率化するマテハンシステムの導入
(無人化／省力化)
- ☆ RFIDリーダーによるICタグ情報の読み取りを活用した貨物探索システムの開発
(属人化からの脱却・作業時間の低減)
- ☆ トラック予約システムMOVVOの導入
(荷待ち・荷役時間削減)



【国土交通省「物流施設におけるDX推進実証事業」事務局特設ウェブサイト】

9つのマテリアリティ(重要課題)と具体的な取り組み

社会課題のなかでの企業価値拡大マテリアリティ

カテゴリ	マテリアリティ	具体的な取り組み
日本社会の 少子高齢化	DX・省力化投資を通じて作業負担を低減させることで、少子高齢化社会においても労働力不足がネックになることなく持続的な倉庫・物流サービスが提供できる体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 機械技術の進化や費用対効果を考慮したうえで、パレタイザーやデバンダーなど荷役作業の負担を軽減する省力化投資を積極的に実施することで、より良い労働環境の構築に向けた施策の推進 取引先と連携しながら受発注や物流管理および自社の事務関連のDX化の推進を通じて、書面のFAXや郵送など昔からのツールの利用率を下げることによる生産性の向上、社員が創造性を発揮できる時間の拡大、ヒューマンエラーの低減に貢献するシステム投資の実施
	人手不足による物流の停滞が懸念されるなか、荷主企業、当社、協力会社の相互理解と協力のもと、DXの活用を通じて効率性を高める物流業務の革新	<ul style="list-style-type: none"> どのようにすれば物流協力会社の負担が軽減できるのかを分析・検討し、DXの活用および出荷元や納品先とも連携しながら自社に関連する物流全体の効率性を高める取組みの継続
地球温暖化・ 自然災害対策	物流GXの推進による物流施設の脱炭素化と地球温暖化対策とともに、太陽光発電・蓄電設備を活用することによって自然災害等の停電時でも倉庫の稼働が続けられる耐性の強化	<ul style="list-style-type: none"> 社会や取引先から将来的に要求されるであろう水準を意識した地球温暖化ガスの排出削減と冷蔵・定温倉庫の脱フロンによる低炭素化の推進 倉庫への太陽光発電・蓄電設備の設置を含め、自然災害等の非常事態時でも稼働する社会貢献性の向上、および自社ビジネスの公共性の高さの情報発信強化

持続的な経営基盤構築マテリアリティ

カテゴリ	マテリアリティ	具体的な取り組み
コーポレート・ ガバナンス	会社の成長ステージに合ったミッション・ビジョンの策定・浸透と事業戦略の実行を通じて企業価値の拡大を図る取締役会の維持・強化	<ul style="list-style-type: none"> 会社の成長ステージに合った士気を高めるミッション・ビジョンの策定と、経営陣が中心となつての社員への浸透、全社員が会社が目指す方向性や考え方を共有することによる一体感のある組織形成と社員モチベーションの向上 ミッション・ビジョンと整合的な中期経営計画の策定と数値目標を確実に達成していくことによる株式市場からの評価向上（時価総額拡大）
	頑強な社員が適切に評価されることで社員の働きがいを高めるとともに、キャリアパス形成のコース選択など多様な働き方にも対応する人事評価制度の整備	<ul style="list-style-type: none"> 会社が期待する成果をあげた社員が適切に評価される人事制度に移行すると同時に、業績向上を通じて社員に還元する給与・賞与原資も拡大することによる社員満足度の向上 キャリアパス形成のコース選択ができることで、多様な考え方やライフスタイルを持つ社員が活躍できる人事評価制度の整備
従業員 エンゲージ メント向上	新しい世代の価値観を考慮しつつ、現場ノウハウを継続的に教育・研修することによる倉庫・物流サービスの品質維持・向上	<ul style="list-style-type: none"> 技術やノウハウは自律的に見て覚えるものという伝統的な考え方ではなく、新しい世代の価値観や仕事観にも配慮した教え方で、定期的に現場ノウハウの教育・研修を実施することによる倉庫・物流サービスの品質維持と向上
	ダイバーシティ&インクルージョンの推進、特に中核となる女性活躍を図ることで様々なビジネスの展開に必要な多様性の維持・拡大	<ul style="list-style-type: none"> 育児休暇の取得や職場復帰がしやすい制度など、ライフイベントによる影響があっても女性が能力を十分に発揮できるための職場環境の整備

カテゴリ	マテリアリティ	具体的な取り組み
リスク管理	DX化の推進に付随して高まるデータセキュリティ・リスクに対して、サイバー攻撃への備えや情報漏洩を起こさない運営体制の確立	<ul style="list-style-type: none"> サイバー攻撃によるシステムダウンや情報漏洩による企業価値の毀損・評判の低下にならないためのシステム運営体制の確立と定期的な研修・訓練の実施
財務体質の確保	倉庫の新設や運送部門の強化など必要なタイミングで機動的な事業戦略を展開できるための財務体質の確保	<ul style="list-style-type: none"> ミッション・ビジョンと整合的な事業戦略を遂行するうえで、倉庫の新設や運送部門の強化など対応の規模の投資が必要になった場合、資金調達がネックになることなく機動的な投資が行えるための財務体質の確保

詳細は当社HPをご参照ください

サステナビリティ

<https://www.kawanishi.co.jp/05sustainability/sdgs.htm>





4

2024年3月期 連結決算 2025年3月期 業績予想

前年比 減収、減益(営業利益、経常利益は増益)で着地

(単位:百万円、%)

科 目	2023/3期		2024/3期			前年 同期比
			期初予想	実績		
	金額	利益率	金額	金額	利益率	
営 業 収 益	27,107	-	25,670	24,993	-	△ 7.8
営 業 利 益	893	3.2	960	過去 最高 1,159	4.6	+ 29.8
経 常 利 益	958	3.5	1,000	過去 最高 1,233	4.9	+ 28.7
親会社株主に 帰属する 当期純利益	1,492	5.5	590	796	3.1	△ 46.6

前期比 増収増益を見込む

(単位:百万円、%)

科目	2024/3期実績		2025/3期業績予想			ご参考 中計公表値 (Vision2024)
	金額	利益率	通期予想	利益率	前年比	
営業収益	24,993	—	26,000	—	+1,006	26,000
営業利益	1,159	4.6	1,200	4.6	+40	1,200
経常利益	1,233	4.9	1,280	4.9	+46	—
親会社株主に 帰属する 当期純利益	796	3.1	800	3.0	+3	—



5

株主還元

配当実績推移

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 実績	2024年度 予定
中間配当	※1 8.00円	※1 9.00円	10.00円	14.00円
期末配当	6.00円	7.00円	※1 13.00円	14.00円
年間	14.00円	16.00円	23.00円	28.00円
配当性向	20.4%	8.2%	22.1%	26.8%
特殊要因を除く 配当性向(ご参考)	20.3%	23.3%	25.5%	-

※1. 特別配当を含む(2021年度2.00円、2022年度2.00円、2023年度3.00円)

株主優待

保有株式数	継続保有期間	基準日	優待内容
100株以上	3年未満	9月末日、3月末日	クオカード 500円分
	3年以上～5年未満		クオカード 1,500円分
	5年以上		クオカード 2,000円分

株価指標

指標	値	指標	値
一株当たり利益 (2024/3月期実績)	104.20円	予想PER	10.85倍
一株当たり純資産 (2024/3月期実績)	2,696.60円	実績PBR	0.41倍
一株当たり配当 (2025/3月期予想)	28円 (中間14円) (期末14円)	配当利回り(予想) 【株主優待考慮】 100株保有の場合 (3年未満) 100株保有の場合 (3年以上5年未満) 100株保有の場合 (5年以上)	2.4% 3.3% 5.1% 6.0%
時価総額	9,340百万円	最低投資金額	113,100円

2024年9月30日株価 終値1,131円で計算

川西倉庫株式会社 総務部総務IR課

ホームページ : <https://www.kawanishi.co.jp>



■本資料の注意点

- 本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定は、ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- 本資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関わる情報は、現時点で入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づき当社が予測したものです。実際の業績は、様々なリスク要因や不確実な要素により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。
- 本資料中の情報によって生じた影響や損害については、当社は一切責任を負いません。
- なお、いかなる目的であれ、本資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。